

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS1312		
科目名	スポーツ観察演習Ⅱ		
担当教員	松原 茂		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 3		
講義室	1309	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック（CR）との関連 E1 学識と専門技能（20%） F1 探求と論拠（20%） G1 状況把握（60%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	スポーツ観察演習Ⅰでの学習内容を踏まえて、様々なスポーツ種目の類型に基づき個人スポーツ、球技、武道の各種目の観戦を行います。その内容について、運動類型を考慮しながら反省的分析を試みます。それらについて、本学部所定のスポーツ観察演習報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、スポーツ観察に役立つ能力を養います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード： 種目類型、管理・運営・安全対策		
授業の趣旨	■副題 自身の専門種目以外の個人スポーツ、球技、武道の試合を実際に観察し、試合の管理や運営、安全対策について学習します。 ■授業の目的 個人スポーツ、球技、武道の各種目の試合を観察し、競技特性を考慮した試合の管理や運営、安全対策について学習し、選手、指導者、観衆、大会役員のそれぞれの観点から分析し、説明できる能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 個人スポーツ、球技、武道から2種目の試合の観察に実際に出向き、大会の管理・運営や安全対策がどのように行われているのかを学習し、グループワークで議論をした後、発表を行います。		

総合到達目標	■選手やコーチが最高のパフォーマンスを発揮するための試合運営について分析し実践する能力を養うために、個人スポーツ、球技、武道の試合観察を通して運動類型を考慮した試合運営を理解する。また、試合観察から得られた知識に基づき、それぞれの競技における円滑な管理・運営・安全対策の手法について説明できる能力を修得する。 ・個人スポーツ、球技、武道における試合の管理・運営・安全対策について列挙することができる。（1～3回目） ・観察する個人スポーツ、球技、武道の基礎知識を調査することができる。（1～6回目） ・グループの仲間との議論や発表を通してコミュニケーションすることができる。（7～13回目） ・観察した個人スポーツ、球技、武道の運動類型に基づいた円滑な管理・運営・安全対策の手法について具体的に述べるができる。（14、15回目）	
成績評価方法	■レポート1回（20％）：適用ルブリック E1・F1・G1 （評価の観点）授業の内容を踏まえて、自身の考えを詳細に記述できているかを評価します。 （フィードバック方法）授業内レポートを実施した次の週に解説を行います。 ■事前調査書2回（20％）：適用ルブリック E1・G1 （評価の観点）調査した内容を詳細に記述できているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■スポーツ観察演習報告書2回（20％）：適用ルブリック F1・G1 （評価の観点）観察した状況を詳細に記述し、分析できているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■授業参加度（40％）：適用ルブリック F1・G1 （評価の観点）グループワークシートによる議論内容とリアクションシートへの記述内容、グループ発表の内容によって評価します。 （フィードバック方法）グループワークシートやリアクションシート回収時に確認し、授業中に行います。また、発表については発表後に講評を行います。	
履修条件	スポーツ観察演習Ⅰ（SSCS1311）を履修していること。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や成績の評価方法等について説明し、授業の準備を行えるようにする。 また、実際に観察するスポーツ種目を個人スポーツ、球技、武道から2種目選択し、試合日程や観戦日について検討する（E1,G1）。 ③予習（120分） シラバスをよく読み、興味深いスポーツ種目について調べておく。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の学習計画と履修計画に基づき検討しておく。
	2	①授業テーマ スポーツ観察の事前学習1 ②授業概要 個人スポーツ、球技、武道における管理・運営とスポーツ観察演習事前調査書の記載方法について学習し、事前調査の準備を行うことができる（F1）。 ③予習（60分） 実際に観察するスポーツ種目の試合日程や観戦日について再度検討しておく。 ④復習（180分） 観察するスポーツ種目の事前調査を行い、事前調査書へ記入しておく。
	3	①授業テーマ スポーツ観察の事前学習2 ②授業概要 個人スポーツ、球技、武道の試合における安全対策とスポーツ観察演習報告書の記載方法について学習し、観察時の要点について説明することができる（F1）。 ③予習（180分） 動画等で観察する2つの種目を視聴し、試合中の管理・運営、安全対策について概観しておく。 ④復習（60分） 試合における安全対策とスポーツ観察演習報告書の記載方法について整理しておく。
	4	①授業テーマ 事前調査に関するグループワーク ②授業概要

	実際に観察するスポーツ種目の基礎知識について、スポーツ観察演習事前調査書に基づきグループ内での議論を通して共有することができる（E 1, F 1）。 ③予習（180分） 観察するスポーツ種目の基礎知識を調べ、スポーツ観察演習事前調査書に記載しておく。 ④復習（60分） 観察するスポーツ種目の基礎知識を整理しておく。
5	①授業テーマ スポーツ観察 1 ②授業概要 事前学習で学んだ試合観察時の要点に基づき、自己の選択したスポーツ種目を実際に観察する（G 1）。 ③予習（60分） 試合観察時の要点について確認しておく。 ④復習（180分） 実際のスポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書に記述し、まとめておく。
6	①授業テーマ スポーツ観察 2 ②授業概要 事前学習で学んだ試合観察時の要点に基づき、自己の選択したスポーツ種目を実際に観察する（G 1）。 ③予習（60分） 試合観察時の要点について確認しておく。 ④復習（180分） 実際のスポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書に記述し、まとめておく。
7	①授業テーマ スポーツ観察後のグループワーク 1 ②授業概要 実際のスポーツ観察で学習した知識について、スポーツ観察演習報告書の記載内容に基づき、グループ内での議論を通して分析することができる（F 1, G 1）。 ③予習（180分） 実際のスポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書に記述し、まとめておく。 ④復習（60分） グループワークでの議論内容をスポーツ観察演習報告書へ反映し、整理しておく。
8	①授業テーマ スポーツ観察後のグループワーク 2 ②授業概要 実際のスポーツ観察で学習した知識について、スポーツ観察演習報告書の記載内容に基づき、グループ内での議論を通して分析することができる（F 1, G 1）。 ③予習（180分） 実際のスポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書に記述し、まとめておく。 ④復習（60分） グループワークでの議論内容をスポーツ観察演習報告書へ反映し、整理しておく。
9	①授業テーマ 発表準備 1 ②授業概要 実際のスポーツ観察で得た知識やグループ内で議論し分析した知識に基づき、発表準備を行うことができる（F 1, G 1）。 ③予習（60分） 実際のスポーツ観察で得た知識およびグループワークでの議論内容をスポーツ観察演習報告書にまとめておく。 ④復習（180分） 発表準備の進捗状況を把握し、発表内容を整理しておく。
10	①授業テーマ 発表準備 2 ②授業概要 実際のスポーツ観察で得た知識やグループ内で議論し分析した知識に基づき、発表準備を行うことができる（F 1, G 1）。 ③予習（60分） 実際のスポーツ観察で得た知識およびグループワークでの議論内容をスポーツ観察演習報告書にまとめておく。

		④復習（180分） 発表準備の進捗状況を把握し、発表内容を整理しておく。
	11	①授業テーマ 発表 1 ②授業概要 スポーツ観察を通して学習した知識をグループごとに発表する。さらに発表に対する議論を通して試合における管理・運営、安全対策が選手、指導者、大会役員に与える影響について説明できるようになる（E 1,G 1）。 ③予習（120分） 自身のグループの発表内容を再確認し、質問への対応を考えておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、質問された内容を整理しておく。
	12	①授業テーマ 発表 2 ②授業概要 スポーツ観察を通して学習した知識をグループごとに発表する。さらに発表に対する議論を通して試合における管理・運営、安全対策が選手、指導者、大会役員に与える影響について説明できるようになる（E 1,G 1）。 ③予習（120分） 自身のグループの発表内容を再確認し、質問への対応を考えておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、質問された内容を整理しておく。
	13	①授業テーマ 発表 3 ②授業概要 スポーツ観察を通して学習した知識をグループごとに発表する。さらに発表に対する議論を通して試合における管理・運営、安全対策が選手、指導者、大会役員に与える影響について説明できるようになる（E 1,G 1）。 ③予習（120分） 自身のグループの発表内容を再確認し、質問への対応を考えておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、質問された内容を整理しておく。
	14	①授業テーマ 総括と授業内レポート ②授業概要 これまでに学習したことを整理し全体的な総括を行うとともに、授業内レポートを実施する（E 1,F 1,G 1）。 ③予習（120分） 発表や質疑応答から得られた知識を振り返り、整理しておく。 ④復習（120分） 授業内レポートへの記述内容について考察しておく。
	15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまでの学習から得られた知識について整理しスポーツ観察演習Ⅱのまとめを行うとともに、授業内レポートの解説を実施する（E 1,F 1,G 1）。 ③予習（120分） これまでの学習内容を振り返り、整理しておく。 ④復習（120分） これまでに学習した知識を自身の専門種目の試合において活用できるよう整理しておく。
関連科目	スポーツ観察演習Ⅰ（SSCS1311）、スポーツ観察演習Ⅲ（SSCS2324）、スポーツ観察演習Ⅳ（SSCS2325）、スポーツとメディア（SSCS3305）	
教科書	ありません。	
参考書・参考URL	ありません。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。	
研究比率		



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.